



平成 22 年 2 月 5 日

各 位

神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目 5 番 5 号
株式会社 チップワンストップ
代表取締役社長 高乗 正行
(コード番号: 3343 東証マザーズ)
問合せ先 取締役経営管理部長 梅木 哲也
(TEL 045-470-8750)

平成 21 年 12 月期通期業績予想との差異および特別損失の発生に関するお知らせ

平成 21 年 10 月 30 日付にて公表いたしました平成 21 年 12 月期（第 9 期）の通期業績予想と、本日公表いたしました平成 21 年 12 月期業績の実績値の間に差異が生じました。あわせて特別損失が発生いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想の修正（平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	2,188	6	12	△11	△396.30 円
今回実績 (B)	2,441	112	111	3	124.83 円
増減額 (B-A)	253	106	99	14	—
増減率 (%)	11.6	—	828.7	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 12 月期)	2,526	△88	△65	△136	△4,579.69 円

2. 当期の個別業績予想の修正（平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	2,062	0	10	△13	△468.35 円
今回実績 (B)	2,316	105	107	0	27.61 円
増減額 (B-A)	254	105	97	13	—
増減率 (%)	12.3	—	975.9	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 12 月期)	2,111	△67	△39	△141	△4,741.95 円

3. 差異が生じた理由

平成21年12月期第4四半期業績は、主力事業である電子デバイス事業において、電子部品・半導体メーカーとの連携強化による商品・サービスの拡充や大手顧客企業とのイントラネット接続の取組み等各種施策の効果と、インターネット通販の強みを生かした小口販売の浸透により、Web会員数、受注会員数、受注件数は第3四半期を上回るペースで大幅に増加いたしました。その結果、平成21年10月30日に修正いたしました平成21年12月通期業績予想と比較し、平成21年12月期の売上高は増収、営業利益・経常利益は大幅増益、当期純利益は黒字となりました。なお、当期の業績見通し等を踏まえ、今後の繰延税金資産の回収可能性について検討した結果、繰延税金資産を90百万円計上しております。

また、Web会員数は約82,200名（対前回予想比4,200名増）、受注件数は約203,700件（対前回予想比18,700件増）と大幅に増加いたしました。

4. 特別損失の発生の内容およびその理由

当社は平成22年12月期第1四半期に、システムの改良リリースおよび新設を順次予定しております。そのため、新たなシステム稼働により非稼働になる旧システムを平成21年12月時点で除却することといたしました。この除却により、連結・単体とも161百万円の特別損失が発生いたしました。

（参考）なお、平成20年10月31日に連結子会社E2パブリッシング株式会社の株式を売却し、メディアコミュニケーション事業から撤退したことにより、前年同期と比較すると平成21年12月期は同事業の売上高が計上されておられません。同事業を除いた平成20年12月期連結売上高実績（2,243百万円）と平成21年12月期連結売上高実績（2,441百万円）を比較すると8.8%の増収となっております。

以 上